

令和3年度 道徳教育 全体計画

学校番号	64	飯田風越	高等学校	全日制	課程	普通・国際教養	科
------	----	------	------	-----	----	---------	---

学校教育目標
豊かな人間性と高い教養を持ち、他者と協働し、主体的に将来を切り拓く力と、地域・社会を牽引する資質を持った人物を育成する。
重点目標
◇国際カリキュラムを研究する実践校として、先進的先端的学びを創造し、新しい教育課程の編成を促進する。 ◇豊かな知識・表現力、創造的な思考力、課題解決力、主体性を身に付けた生徒の育成を目指す。 ◇職員、生徒、保護者が相互に連絡連携を取り、個々の生徒一人ひとりのニーズに応じた支援を目指す。

道徳教育の重点目標
1 飯田風越高校生としての自覚を持ち、学習、生徒会、クラブ等の諸活動を通して、自立的で責任ある行動力を身につける。 2 いじめ・体罰のない学校づくりを推進する。特にスマートフォン、インターネットの利用にはその危険性を生徒に理解させ、犯罪の被害と問題行動につながることを未然に防止する。 3 人権学習や修学旅行体験を通じて、戦争と平和、差別や不当な人権侵害について学び、人権感覚を磨く。 4 協働の活動を通して、社会の一員としてよりよい社会の創造に貢献できる資質を養う。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○インターンシップ ○キャリアガイダンス ○ソーシャル・スキル・トレーニング ○文理選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ○合唱コンクール ○SNSの正しい利用法について ○人権学習（いじめのない学校生活のために）	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭
2年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○課題研究 ○進路別科目選択	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○合唱コンクール ○平和学習（修学旅行事前学習） ○人権学習（多文化共生社会の実現に向けて）	校内組織における中心的な存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営
3年	身近なことから関心を広げ、社会の諸課題に対して主体的に解決していくこととする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲を育てる。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究 ○課題研究	社会の構成者としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○高校卒業後の在り方について ○人権学習（社会生活の中の権利と責任）	本校生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動

各教科	
国語	言語活動を通してもの見方・考え方を深め、他者との関わり合いの中で伝える力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。
地理歴史	社会との関わりを意識して課題を追究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
公民	持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする態度を育む。
数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。
理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養う。
芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成するとともに、協働できる力、持続可能な社会に寄与する態度を育成する。
情報	情報に関する科学的な見方や考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をとって、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動を通し、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的・創造的に社会に関わる態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己と他者とともに尊重する心を育て、よりよい社会の一員としての自覚を高める。
------------------	--